

令和7年度 第一回小田原市海面の利用調整に関する懇談会 議事録

日 時 令和7年10月1日（水）14:00～15:15

場 所 小田原市公設水産地方卸売市場2階 会議室

出席者 別紙出席者一覧のとおり

（欠席 糸井氏、清水氏）

【議 事】

議 題

（1）これまでの懇談会内容の振り返り（小田原・早川エリアについて）

資料1「これまでの懇談会内容の振り返り(概要)」により事務局（山田主任）から説明の後、質疑・意見等の確認が行われ、特に質疑・意見等は無かった。

（2）各参加者の活動内容、課題感について

事務局

自己紹介とそれぞれの活動状況、課題と感ずることをお話しいただきたい。

漁業関係者

- ・前回の小田原・早川地区の懇談会から参加している。
- ・これまでの懇談会でも伝えたいことは伝えた。酒匂地区も引き続きよろしくお願いしたい。

漁業関係者

- ・普段刺し網漁をやっていると SUP が沢山いることを実感している。
- ・酒匂や国府津は砂浜で SUP 等が出しやすく、暗いうちに出艇しているのを見かける。
- ・この会議でそういった問題を解決していければと考える。

漁業関係者

- ・刺し網漁とシラス漁をやっている。シラス漁は実施するエリアが広い。
- ・シラスの反応が出ると、様々な方向から網を引っ張ることがあり、SUP 等が沢山浮かんでいてどうしても避けることができない。
- ・悪いけどどいてくれないか、というスマートフォンで動画を取られることがあり困っている。

海洋性レクリエーション関係者

- ・酒匂を中心にサーフィンの普及を目的に活動している。
- ・その一環でサーフィン教室や釣りを伴わない SUP 教室等も開催している。
- ・これまでの小田原・早川地区の懇談会も出席しており、皆様の力になればと考える。

海洋性レクリエーション関係者

- ・全国に支部があり、水中清掃や放流事業、釣り人のマナー啓発を行っている。
- ・本懇談会における看板設置についても協力している。

海洋性レクリエーション関係者

- ・ミニボートは車で運搬し各地に出没するため、漁業者が苦情を言いたくても窓口がなかったため、組織化して共存していくための窓口として団体（ミニボートクラブ）を作り 20 年経過した。
- ・ミニボートで目に余る行動をしている人がいたら、漁業者から、ミニボートクラブに連絡をもらい、ミニボート愛好家同士で伝えるようにしている。
- ・小田原もシステムができればトラブルも減るのではないかと考える。

海洋性レクリエーション関係者

- ・普段は食育や釣り体験、魚捌き体験など、釣りと水産業を繋げるような取り組みをしている。
- ・釣り具メーカーのプロ契約をしており、釣り具の開発やメディアへの出演もしている。
- ・2, 3 年前から釣り教室をしているが、初心者へのルール・マナー啓発もしている。
- ・議題に挙がっている SUP での釣りはしないが、浜からの釣りをしており、酒匂地区でも何度も釣りをしている。

海洋性レクリエーション関係者

- ・主に御幸の浜周辺で SUP をしており、夏はライフセーバーとも連携をとっている。
- ・これまでの小田原・早川地区の懇談会から参加しており、基本的には漁業者は仕事として、我々はレジャー側であり、優先順位は理解して活動している。
- ・これまでの懇談会で決まった、小田原・早川地区のルール・マナーについては仲間内で共有している。
- ・今回の酒匂地区も、仲間がよく利用している人もいる。

行政関係者

- ・水産課では海浜ルールや漁業調整の会議に出ることが多いが、神奈川県全域でミニボートや SUP の問題は話題に挙がることが多い。
- ・特に、ミニボート等が見えづらいことや釣り具が漁具に絡まって漁業者がけがをするとい

った事例を耳にする。

- ・法的に縛ることは難しく、お願いベースでやるしかない。
- ・ルール作りについては、他地区ではどういった人を集めてやればよいのかわからないといった声も聴かれるが、小田原は先進事例として紹介できる。
- ・水産課は海区漁業調整委員会の事務局もやっているが、各委員からミニポート等の問題が挙げられており、全国の課題を吸い上げる場でもこの問題は報告している。
- ・今回の懇談会の内容を他地区にも広げていければと考える。

行政関係者

- ・小田原から西の水産行政全般を管轄している。
- ・漁業者や海面の利用者が納得できるルール・マナー作りができるよう協力できればと考える。

行政関係者

- ・昨年度から懇談会に出席している。今回は酒匂地区ということで小田原土木センターの管理する海岸の地区。

行政関係者

- ・小田原海岸、酒匂海岸の管理を管轄している。
- ・皆様の意見を聞かせていただければ。

行政関係者

- ・管轄は小田原漁港、漁港海岸、早川海岸になる。
- ・今回は酒匂地区になるが、情報共有の意味合いで参加した。

行政関係者

- ・前回の小田原・早川地区の懇談会から参加している。
- ・最近の課題は、ミニポート、釣りSUPの海難は多く、管轄の鎌倉～湯河原はどこも同じ課題を抱えている。
- ・特に海水浴場を持つ地域は海浜ルールを制定しているが、小田原市はそれらよりも広い枠組みで話し合いをしている。両者の折り合いが付くようなものができればと考える。

行政関係者

- ・御幸の浜、江之浦の海水浴場を管轄している。
- ・酒匂地区についてはあまり関りが無いが、情報共有したい。

行政関係者

- ・懇談会を設置している部署の責任者である。
- ・小田原・早川地区の懇談会は漁業者から厳しい意見が多く出た中で、一定のルール・マナーを取りまとめられたことは素晴らしいと考えます。
- ・酒匂地区でも引き続き有意義な議論をお願いしたい。

(3)「意見交換」

事務局

酒匂地区で安全に海面を利用するためにどのような啓発をすべきか意見交換をしたい。
資料6の酒匂地区の概要、資料7の他地区の海浜ルール等を参考にご意見を頂戴したい。

海洋性レクリエーション関係者

- ・酒匂川の河口は流れがあることや、急に深くなる地形のため、ミニボートを出すのには向いていないため、あまり見かけない。
- ・一方でSUPは波を超えやすいこともあり、毎年増えている。

漁業関係者

- ・早川地区は漁港の周辺は進入禁止エリアを設けた事もあり、懇談会で決まったルール・マナーを啓発して以降SUPが少なくなった。
- ・SUPの仲間同士で情報を周知してくれたからではないかと思う。
- ・その一方で小田原海岸や酒匂海岸に行っているのではないかと思う。
- ・酒匂地区については、進入禁止エリアを設ける理由が無いと考える。
- ・酒匂地区でもルール・マナーを浸透させればトラブルが減る可能性はあると思う。
- ・シラス漁の事を聞いて初めて気づいたが、刺し網は線で網を掛けるが、シラスは面で網を掛ける。どいてほしい場所が広いので、どう解決すればよいのか議論が必要だと考える。

漁業関係者

- ・実際に酒匂地区にSUPは増えている。土日は20人くらいはいる。

海洋性レクリエーション関係者

- ・釣れ始めると情報が回り、一斉に集まる。
- ・浜から投げられない程いる。

海洋性レクリエーション関係者

- ・このエリアは駐車場はあるのか。

海洋性レクリエーション関係者

- ・台数は限られるが無料で停められる場所がある。

海洋性レクリエーション関係者

- ・釣りの問題はだいたい駐車場の問題と繋がっている。
- ・駐車場の有料化は対策の手立て。漁協にお金が落ちる仕組みをとっているところもある。

行政関係者

- ・駐車場というか、県の管理する砂浜であり有料化は難しい。

海洋性レクリエーション関係者

・先ほど、早川地区でSUPの釣り人が減り、酒匂にそれらの人が流入しているのではないかという話があったが、早川地区の漁港周辺は朝7時から、という制限があるため、7時は釣り人にとってはかなり遅い時間のため、酒匂地区に人が流れているのではないか。

漁業関係者

・小田原・早川地区のSUPは漁船が行くと避けるが、酒匂のSUPは避けない。小田原・早川地区である程度ルール・マナーが浸透したということではないかと感じている。

海洋性レクリエーション関係者

・SUP等が事故を起こす一因として風の影響があるが、何m以上は出艇しないとといった基準を検討したことは無いのか。

事務局

- ・具体的な数字を示したことは無い。

海洋性レクリエーション関係者

- ・西湘バイパスから海を見ると強風が吹いているときでもSUP等が出ているのを見て危ないと感じることがある。
- ・ネットやアプリで簡単に風予報は確認できるため、何メートル以上の時は出てはいけないといった基準を設けたらよいのではないか。
- ・明るくなってから出る、というのは定める必要がある。

海洋性レクリエーション関係者

- ・ミニボートの方はそういった基準を決めていたりするのか。

海洋性レクリエーション関係者

- ・ある時間帯が例えば風速 5m の予報でも、実際には 8m あったり、という事もあり、明確に決めるのは難しいのが実情。
- ・場数を踏み、ベテランになってくると、読みがだんだん正確になってくる。
- ・愛好家の中でも、無理して出て漁業者に迷惑をかけないように、といった意識の高い方もいるが、一見的に来る方は限度が分からない事もある。
- ・地域性もあり、この場所はどちら向きの風に強い、弱い、という事もある。
- ・数字だけで決めてもうまくいかない可能性もある。

海洋性レクリエーション関係者

- ・漁法によって網のかけ方が違うという話を今回知ったが、それはリーフレットの掲載が難しければ少なくともホームページには反映してもらい、SUP で釣りをする方に、早めに周知していけば少しは改善され则认为る。
- ・先日、魚探や竿が付いている SUP が浜に打ちあがり海上保安庁や消防署職員の捜索に協力することになった。
- ・結果的には浜辺から出艇するときに、落水し、河口の離岸流により SUP だけ流され、持ち主はあきらめて帰ってしまったというものだった。
- ・この懇談会によって小田原市海面利用のルール・マナーを作成できていることは良いことだが、SUP 利用者で海の知識が少ない人もいる中、周知する団体もない状況。講習会のような形で周知のための集まりがあってもよいと考える。その講習を受けたら黄色のリボンをもらえるたらなお良いと考える。
- ・周知の仕方の工夫は必要。小田原・早川地区のルール・マナー理解者のサインとして黄色のリボンをつける事としたが、そのような人を見たことが今のところほぼ無い。

事務局

- ・シラス漁との利用調整をするためにどのような啓発をしたらよいか。

漁業関係者

- ・一番効果的なのは時間を分けることだとは思う。

海洋性レクリエーション関係者

- ・シラス漁の漁労中の形象物は何かあるのか。

漁業関係者

- ・あってもわからないのではないか。

海洋性レクリエーション関係者

- ・時期は決まっているのか。

漁業関係者

- ・3月11日から12月31日まで。

海洋性レクリエーション関係者

- ・レジャー側は漁期についても知らないので、時期を周知することも効果的。

海洋性レクリエーション関係者

- ・時間は決まっているのか。

漁業関係者

- ・時間は特に決まっていないが朝が主体。

海洋性レクリエーション関係者

- ・漁労は一艘か二艘どちらか。

漁業関係者

- ・一艘。

海洋性レクリエーション関係者

- ・幅はどれくらいで網を引くのか。

漁業関係者

- ・反応の出方による。

漁業関係者

- ・大磯から東側はシラス漁が盛んだがトラブルの事例は聞かないか。

行政関係者

- ・海上保安庁では報告は受けていない。

事務局

- ・別の会議で茅ヶ崎のシラス漁業者が困っている話は聞いた。
- ・漁をやりたいからどいてくれと言うと、どいてほしい方向に進んで行ってしまうとのこと

だった。

海洋性レクリエーション関係者

- ・小田原でシラス漁の船は何艘あるのか。

漁業関係者

- ・一艘のみ。

海洋性レクリエーション関係者

- ・目視で距離はわかりづらいが、例えばシラス漁の漁船を見たら、500m は離れましょう、といった啓発はできるのではないか。

漁業関係者

- ・どこかの反応が出るかわからないから急にはどけないだろう。

海洋性レクリエーション関係者

- ・平塚のシラス漁師から、網の構造や漁船の構造を周知して欲しいといわれ、ミニボートクラブのホームページで周知したことがある。

漁業関係者

- ・それはとても良いことだ。周知すべきだ。

行政関係者

- ・酒匂地区の SUP 愛好家を束ねる団体はあるのか。

海洋性レクリエーション関係者

- ・仲間同士の集まりが幾つかあるが団体と呼べるものは無い。
- ・インスタグラムで繋がっていたり、LINE グループの小さな集まりはある。
- ・インターネットで気軽に購入して知識のないまま来て事故を起こしてしまう。
- ・酒匂地区で SUP 釣りを Youtube で発信している人もいるので、こういった人に啓発してもらう方が効果的かもしれない。

海洋性レクリエーション関係者

- ・前回の小田原・早川地区の懇談会にも酒匂で SUP 等の釣りグループの方にも来てもらった事がある。
- ・まずは、漁業者は仕事として、レジャーは遊びとして海面を利用しているという事を理解

することが重要で、それを理解すれば邪魔をしてはいけないという気持ちになる。

・どちらに避けたらよいかわからない事もあるかもしれないが、避けようとする気持ちを持つことが大事。

漁業関係者

・自分はレジャーの方に声をかけるときは気を付けているが、若いころは言葉を荒げてしまった事もある。

・声を荒げたりすることは、振り返ってみるとやってはいけない事だが、レジャーの仲間同士で注意喚起してもらうのが一番良い。

海洋性レクリエーション関係者

・酒匂川の河口でサーフィンをする仲間が 120 人くらいおり、常時誰かいるので、SUP 等の方にもルール・マナーブックが完成すれば配布し注意喚起することはできる。

・シラス漁の注意喚起については要検討。

海洋性レクリエーション関係者

・駐車スペースが決まっていて、出る場所がほぼ決まっているのであれば、そこに看板等を設置するのは効果的。

事務局

・前回の小田原・早川地区の啓発内容をベースに、今回出た話を盛り込んだ酒匂地区の事務局案を次回の懇談会で示すことでどうか。

海洋性レクリエーション関係者

・酒匂川の河口は離岸流で危ないので、SUP/カヤックは出航禁止とする等わかりやすい基準は記載すべきだと考える。

海洋性レクリエーション関係者

・河口を進入禁止にされてしまうとサーフィンをする側からすると困る。

・離岸流については個別に啓発看板がある。

海洋性レクリエーション関係者

・刺し網もおおよそその長さや構造をホームページに示しているので、シラス漁も同様に示したらよい。

海洋性レクリエーション関係者

・シラス漁をしている漁業者がいることや、シラスの漁船がどのようなものが浸透してく

れば、レジヤー側も避けるようになると考える。

事務局

- ・次回事務局案を提示する。

(閉会)